

浦安市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び 第4期特定健康診査等実施計画 (令和6年度～令和11年度)

■はじめに

「データヘルス計画」とは、電子レセプトや特定健康診査などのデータを分析することにより、保健事業の実施内容やその目標を定めたものです。また、「特定健康診査等実施計画」とは、保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施内容や目標を定めたものです。

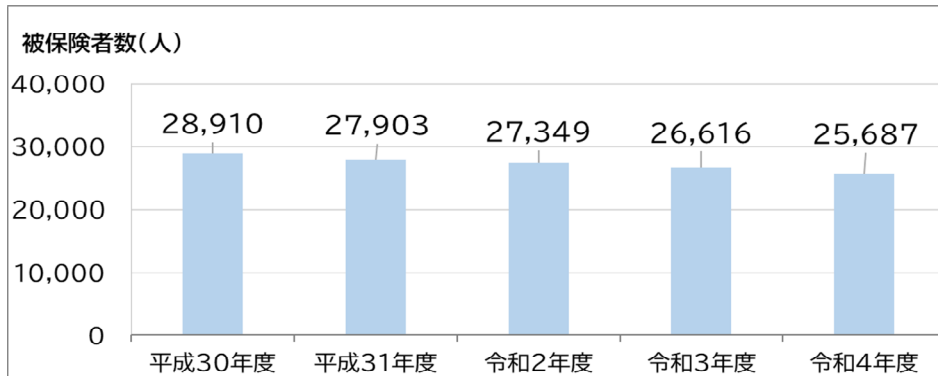
いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としています。

浦安市国民健康保険では、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定します。

全体目標	評価指標	策定時実績	終了時実績	評価
中長期的な目標				
①糖尿病の重症化を原因とした人工透析新規認定者数を増加させません。	人工透析新規認定者数	22人	18人	達成
短期的な目標				
①40～50歳代の特定健康診査受診率および40～50歳代の特定保健指導の実施率を、毎年1ポイントずつ向上させます。	40～50歳代の特定健康診査受診率	23.9%	24.8%	未達成だが、改善
②糖尿病の重症化を予防し、人工透析新規認定者を増加させません。	40～50歳代の特定保健指導実施率	2.2%	4.9%	未達成だが、改善

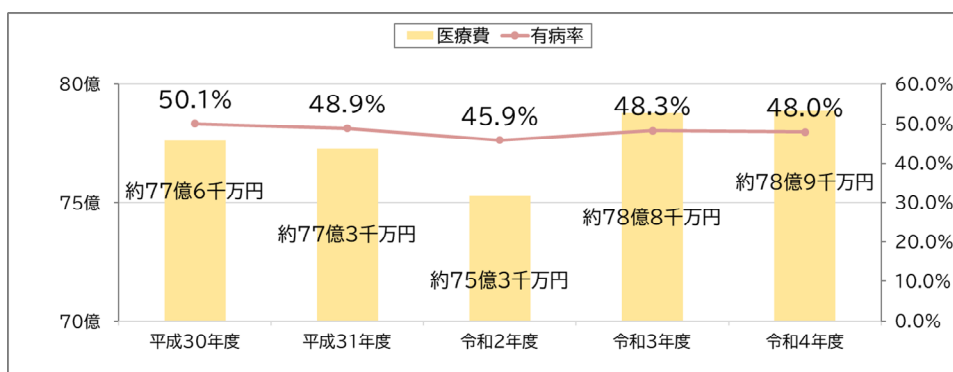
■浦安市国民健康保険の現状

◆被保険者数の推移



被保険者数は、後期高齢者医療制度への移行者の増加や、被用者保険の適用拡大などの理由により、年々減少を続けています。

◆年度別の医療費と有病率の推移

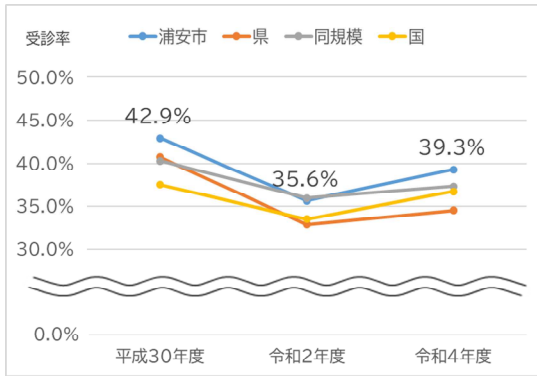


医療技術の進歩などにより、医療費及び一人当たり医療費は増加していますが、有病率は減少しています。

	平成30年度	31年度	令和2年度	3年度	4年度
一人当たり医療費	285,176円	291,736円	287,344円	305,859円	310,213円

■浦安市の健康課題と対策

年度別 特定健康診査受診率



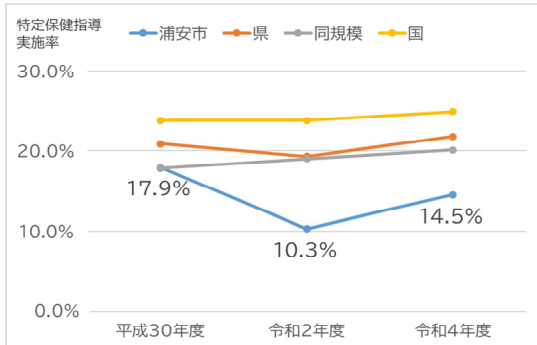
1. 特定健康診査受診率が低い

- 40～50歳代の若い世代の特定健康診査受診率が低く、男性が特に低い状況です。
- 高齢になるにつれ、生活習慣病の有病率・医療費が上昇しています。
- 生活習慣病の一人当たりの医療費は、健診受診者と比較し健診未受診者では約2倍高くなっています。

1. 特定健康診査の受診率向上

- 特定健康診査の受診率を向上させ、生活習慣病の早期発見に努めます。

年度別 特定保健指導実施率



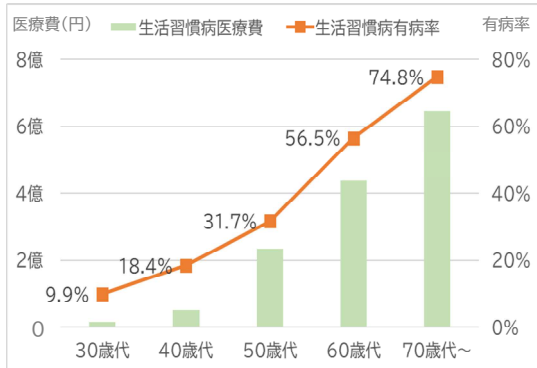
2. 生活習慣病のリスクの増加

- 特定保健指導支援対象者の割合が増えています。
- 特定保健指導実施率は、県・同規模自治体・国に比べて低い状況です。
- 疾病別医療費の大分類分析では、入院・外来医療費ともに1位が悪性新生物であり、外来の医療費では生活習慣病が大きな割合を占めています。
- 糖尿病の患者数が年々上昇しています。
- 県や国と比べて特定健康診査受診者の尿酸・LDLコレステロール・eGFRの有所見者割合が高く、生活習慣病のリスクを抱えている人が多い傾向です。

2. 生活習慣病の発症及び重症化を予防

- 特定保健指導の実施率向上を目指します。
- 生活習慣病に起因する疾病が多いことから、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組みます。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



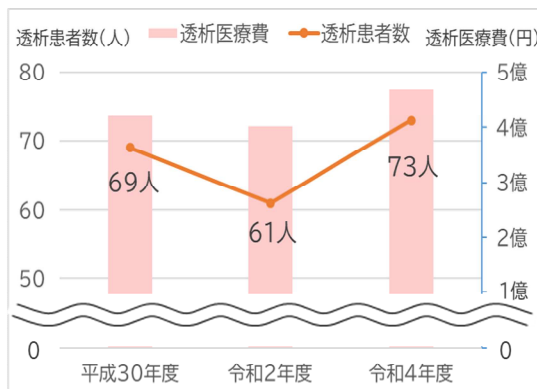
3. 生活習慣病重症化による疾患の死亡率・医療費の増加

- 外来医療費では、糖尿病・慢性腎臓病(透析あり)の割合が高い状況です。
- 透析患者数は年々増加しており、糖尿病を起因とする透析患者が多い状況です。
- 被保険者数は減少傾向ですが、医療費は増加傾向にあります。

3. 医療費に占める割合の高い疾病の重症化予防と被保険者の健康意識向上

- 糖尿病性腎症重症化予防に取り組みます。
- 正しい生活習慣の情報発信などに取り組みます

年度別 透析患者数及び透析医療費



■目的を達成するための個別事業

1. 特定健康診査の受診率向上

●特定健康診査受診勧奨事業

事業概要

特定健康診査の未受診者に対し、効果的・効率的な受診勧奨を行うことや、健診の意義を広く周知することで、受診率向上を目指します。

具体的な取組

AIを活用した年2回の受診勧奨を継続し、その成果をみながら受診勧奨の方法について改善を図ります。

評価指標	令和4年度	目標値 令和11年度
特定健康診査受診率	39.4%	46.5%

2. 生活習慣病の発症予防及び重症化を予防

●特定保健指導利用勧奨事業

事業概要

対象者にとって利用しやすい環境を整えることや、未利用者に対して利用勧奨を行うことで、実施率を向上させます。

具体的な取組

- ・ 夜間や休日などに保健指導が受けられる環境を維持します。
- ・ ICTのさらなる活用など実施方法の多様化を検討します。

●生活習慣病重症化予防事業

事業概要

特定健康診査を受診した者のうち、受診勧奨値を超える者に対して受診勧奨を行い、生活習慣病の重症化や健診異値放置者の減少を目指します。

具体的な取組

健診受診状況やレセプトデータを用いて、受診勧奨値を超えたハイリスク者を抽出し、受診勧奨や保健指導を実施します。

評価指標	令和4年度	目標値 令和11年度
特定保健指導実施率	13.8%	20.0%
メタボリックシンドローム該当者割合	19.7%	18.2%
糖尿病の有病割合	12.9%	減少

3. 医療費に占める割合の高い疾病の重症化予防と被保険者の健康意識向上

●糖尿病性腎症重症化予防事業

事業概要

医師会・かかりつけ医との協力のもと、未受診者や未治療者に対して受診勧奨や保健指導を行い、重症化予防や新規人工透析への移行を防ぎます。

具体的な取組

- ・ 事前にかかりつけ医と調整し、対象者の選定、保健指導方針を検討します。
- ・ 単年の保健指導で終わらず、次年度以降の特定健診結果より継続支援を行います。

評価指標	令和4年度	目標値 令和11年度
新規人工透析患者数	4人	0人